

「安全管理の取組状況の自己チェックシート」

保有車両数50両未満の一般貸切旅客自動車運送事業者向け

【記載要領】

1. 運輸安全マネジメント評価は、従来から実施している保安監査と異なり、貴社の輸送の安全を確保する取組について国が支援する趣旨で実施いたしますので、貴社の取組状況を記入してください。
2. 安全管理の取組状況の自己チェックシートは、「一般貸切旅客自動車運送事業の概要」を含め7枚ありますので、本記載要領を参考に必要事項を記入してください。
3. 最初に、1頁の自己点検日、事業者名称、代表者の役職・氏名等及び「一般貸切旅客自動車運送事業の概要」を記入してください。
4. 次に、貴社の取組状況を2～7頁の「自己チェックシート（1／6～6／6）」の「自己チェックポイント」をご覧ください「具体的な取組内容等」欄に記入してください。
5. 「自己判定」欄には、貴社の取組状況を「自己チェックポイント」に照らして、実施している場合は「○」、一部実施している場合は「△」、実施に至らない場合は「×」を記入してください。

自己点検日：令和7年3月13日

事業者名称：株式会社田辺観光バス

代表者の役職・氏名：代表取締役 大谷 晃一

安全統括管理者役職・氏名：代表取締役 大谷 晃一

一般貸切旅客自動車運送事業の概要

項目	記載欄
所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町堅田 2434-1
連絡担当者役職・氏名	代表取締役 大谷 晃一
電話番号、FAX、メールアドレス	電話：0739-43-3363（南紀白浜本社）06-6748-0471（大阪営業所） FAX：0739-43-1317（南紀白浜本社）06-6748-0472（大阪営業所） メールアドレス：info2@tk-bus.jp
社員数	社員数： 17名、(内訳 運転者： 17名、運行管理者： 3名、整備管理者： 4名)
運転者	平均年齢： 53歳、平均勤続年数： 2年
営業所数	営業所数： 2箇所
保有車両数	合計車両数： 12両、大型 8両、中型 4両、小型 0両
事故件数（直近の3年間）	令和3年度： -件、令和4年度： 0件、令和5年度： 0件
貸切事業許可年月日等	平成 5年 2月 15日許可 近運自一 第1165号 大阪府バス協会加盟 有
専業、兼業の別	<input checked="" type="checkbox"/> ：貸切バス事業専業、 <input type="checkbox"/> ：他の事業と兼業（兼業している事業の名称：)
業務の様態(業務量の多い順番に番号を付してください。)	(2)：行楽シーズンの観光バス、(1)：旅行会社からの依頼、(3)：地元自治会等の依頼、 (-)：都市間輸送のバス、(4)：修学旅行、(-)：スキーバス、(-)：企業・学校・マンション送迎バス、 (-)：会葬者の送迎バス、(-)：福祉輸送、(-)：その他（通学支援バス業務委託）
その他情報	旅行代理店からの依頼割合： 95%、 運行日程（日帰り： 40%、宿泊： 60%）、 ガイドの添乗状況： 3%、 インバウンドの運送契約割合： 80% 繁忙期（月）：(4月～6月、9月～11月)、閑散期（月）：(12月～3月、7月、8月)

自己チェックシート (1 / 6)

	自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等	担当官判定
1 経営トップの責務等	1. 代表者(経営者)の輸送の安全確保に関する考え方		<p>1. 考え方 スローガン「安全運転宣言」として5つの項目を掲げております。 ・法令およびルール・マナーの順守 ・横断歩道での一時停止 ・思いやりとゆずり合い、子供と高齢者の保護 ・十分な車間距離と安全速度 ・交差点での安全確認と徐行 これらを全社員が一丸となって安全確保に努める事が必要です。</p>	
	2. 代表者(経営者)は社員に指示する等により上記1.の考え方を記載した安全方針を作成しているか。	○	<p>1. 作成状況 「安全運行に対する心がけ 12 箇条」と銘打って社内に掲示している。</p> <p>2. 安全方針(主な内容) ・大切なのは技術ではなく心構えとし、常に初心を忘れないこと。 ・田辺観光の運転手はいかなる時でも紳士であること。</p>	
	3. 輸送の安全を確保するために必要な人員や設備等を確保・整備しているか。	○	<p>1. 人員 ・必要な人員は確保しています。</p> <p>2. 設備等 ・管理者とのグループラインに参加しており、車両状況等を把握しているの で整備に関しては速やかに対応出来ています。 ・先進の安全装備を搭載した新車を導入をしております。(今年度4台)</p>	
	4. 安全統括管理者は、社員に指示する等して、輸送の安全に必要な手順・規則を作成し、社内に周知しているか。	○	<p>1. 作成・周知状況 ・安全管理規程を作成し、社内に周知しています。</p>	

自己チェックシート（2／6）

	自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等	担当官判定
2 安全管理の考えと計画	1. 作成した安全方針を社内に周知徹底しているか。 (例えば会議、点呼、掲示等により) また、必要に応じて見直しているか。	○	1. 周知方法 「安全運転宣言」と銘打って社内に掲示している。 点呼場、車庫内、事務所内に掲示しています。 2. 見直し（安全方針・周知方法）の検討状況及び具体的事例 安全方針に関しては必要に応じた時に見直します。	
	2. 年に1回、安全目標とそのための具体的取組計画（安全重点施策）を作成しているか。	○	1. 安全目標 ・人身事故の0を目指す。 ・物損事故の半減減を目指す。 ・路上故障の半減を目指す。 2. 具体的な取組計画 ・安全輸送に関する意識の向上（点呼時の唱和等） ・社内でのヒヤリハット情報の共有。 ・事故情報の迅速な伝達。	
	3. 取組計画の進捗状況及び安全目標の達成状況を把握し、必要に応じて見直しているか。	○	1. 進捗・達成状況の具体的内容 ・人身事故0件。 ・物損事故4件。（うち被害事故1件、洗車機事故1件） ・路上故障4件。 2. 見直しの検討状況及び具体的事例 物損事故に関してはドライブレコーダーの映像を確認し、同じような事故を起こさないよう運転者に対して指導・教育している。	

自己チェックシート（3 / 6）

		自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等	担当官判定
3 情報伝達及びコミュニケーションの確保	1.	代表者（経営者）等は、輸送の安全に関する情報が適時、適切に社内に伝わるようにしているか。また、現場の課題等を適時、適切に把握しているか。	○	1. 代表者（経営者）等から現場への情報伝達の状況 ・管理者とのグループラインにより現場への伝達を指示しています。 2. 現場の課題等の把握の状況 ・まめに大阪営業所に足を運んで会議にて課題等は把握しております。 3. 情報伝達の頻度や現場の課題等の適時、適切な把握の状況 ・最低でも月2回は大阪営業所に出向き、現場で直接話をする機会を作っています。	
	2.	情報伝達及びコミュニケーションにおいて明らかになった課題等について、必要な措置を実施し、見直しを行っているか。	○	1. 明らかになった課題等についての措置の具体的事例 ・車両故障については、適切な予防整備の指示と出来るだけ早く新車への車両入れ替えを検討しています。 2. 見直しを行った具体的事例 ・今年度新車を4台導入し、来年度も2台の納車は確定しております。来年度は更に車両入れ替えを予定しております。	

自己チェックシート（4／6）

	自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等	担当官判定
4 事故情報等の収集・活用	1. 社員は、事故が発生した場合は、代表者（経営者）等にその情報を適時、適切に報告しているか。	○	1. 報告の状況（例：連絡体制図に基づき速やかに報告） ・事故発生時対応マニュアルに基づき迅速に報告しています。	
	2. 代表者（経営者）等は報告を受けた事故について、原因の究明を行い、再発防止策を検討・実施しているか。また、実施した対策の効果を把握し、必要に応じて見直しを行っているか。	○	1. 原因究明・再発防止策の検討の実施状況 ・ドライブレコーダーの動画を確認しながら当該乗務員との指導に基づいて再発防止策を策定し全乗務員に共有しています。 2. 効果把握・見直しの実施状況 ・把握しております・ ・必要があれば見直します。	
	3. 自社のヒヤリ・ハット情報を集め、事故防止に活用しているか。	○	1. 収集方法 ・乗務員との会話とデジタルタコグラフのアラート鳴動による動画の確認。 2. 活用状況（例：自社周辺のハザードマップの作成等） ・ヒヤリ・ハット動画の視聴により情報を共有しております。	
	4. ヒヤリ・ハット情報を報告することの重要性を社内に周知するとともに、報告者に対し不利益が生じないよう配慮しているか。	○	1. 周知の実施状況 ・事案発生毎にヒヤリ・ハット情報交換を行っています。 2. 不利益が生じないよう配慮している状況 ・事故ヒヤリハットの動画視聴は個別に指導しております。	
	5. 他社の事故事例やヒヤリ・ハット情報等の情報を集め、自らの事故防止に活用しているか。	○	1. 情報の活用状況 ・活用しています。	

自己チェックシート (5 / 6)

		自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等	担当官判定
5 教育・訓練等の取組	1.	<p>代表者(経営者)を含め輸送の安全にかかわる者に対して、運輸安全マネジメント制度に関する教育(外部研修等の受講を含む)を行っているか。</p> <p>また、必要に応じて見直しを行っているか。</p>	○	<p>1. 教育の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪営業所の統括運行管理者に対して行っております。 ・今のところ未受講ですが、管理者にマネジメントの受講を指示しています。 <p>2. 見直しの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば見直します。 	
	2.	<p>運転者等の技能要員に対して、必要な教育・訓練を計画的に行っているか。</p> <p>また、必要に応じて見直しを行っているか。</p>	○	<p>1. 教育・訓練の計画内容及び実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AMT車両を導入の際に乗務員全員に対して技能訓練を行ないました。 <p>2. 見直しの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪道を含め、年間2回は必ず実施する事と決めました。 	
	3.	<p>重大な事故等が発生した場合の対応方法等を予め定めているか。</p>	○	<p>1. 重大な事故等が発生した場合の対応方法の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時対応マニュアルを定めています。 	
	4.	<p>重大な事故等を想定した情報伝達訓練等(親会社の訓練に参加等含む。)を実施しているか。</p> <p>また、訓練の実施後は振り返りを行い、必要に応じて内容を見直しているか。</p>	○	<p>1. 訓練の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に続き、無線や電話での各所への報告など手順通り対応できるかの確認とスイングドアと非常口の開閉方法などを実施しました。 <p>2. 見直しの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より、毎年行う事としています。 	
	5.	<p>社員(運転者等)の関係法令等の遵守状況について定期的に確認を行っているか。</p>	○	<p>1. 遵守状況の定期的な確認の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転する場合の心構えとして関係法令など改善基準告示などの集合教育指導を年に1度行っている。 	

自己チェックシート（6 / 6）

		自己チェックポイント	自己判定	具体的な取組内容等	担当官判定
6 点検及び見直し・改善	1.	中小規模自動車運送事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン付属「安全管理の取組状況の自己チェックリスト」による点検等により、少なくとも年に1回、安全目標の達成状況や安全管理の取組状況を点検しているか。	○	1. 点検の実施状況 ・2024年度は3月に実施しました。	
	2.	上記1.の点検の結果、必要に応じて安全目標や取組計画を見直しているか。	○	1. 見直しの実施状況 ・安全目標については見直しました。	
	3.	安全に関する日々の取組みに問題があった場合、改善や対策等を講じているか。	○	1. 改善・対策の事例 ・AMT車両導入の際、全乗務員に乗務研修および安全装置の使用方法的研修を行った。	
	4.	安全管理体制を構築・改善するために作成した文書類や運用結果を残すために作成した記録類を適切に管理しているか。	○	1. 文書類（各種安全に関する規程、マニュアル等）の作成・管理の状況 運行管理規程、安全管理規程、乗務員サービス規程、整備管理規程は作成・管理しています。 2. 記録類（安全に関する会議の資料・議事録等）の作成・管理の状況 無し	

【運輸局等記載欄】

事 項	記 載 欄
評価日	令和7年3月13日
評価場所	大阪営業所
評価担当運輸局支局等の名称	内部監査のため無し
評価チームリーダー職名、氏名	統括運行管理者 梶本隆仁
評価チームメンバー職名、氏名	奥野勝 大阪旅客運送営業部長
運輸安全マネジメント評価データベース入力日	同上月